

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	272400417		
法人名	社会福祉法人鶴松会		
事業所名	グループホーム鶴松園		
所在地 (電話番号)	〒038-3542 青森県北津軽郡鶴田町廻堰字上野尻142 (電話) 0173-22-6780		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 10月 16日	評価確定日	平成 19年 12月 26日

【情報提供票より】(平成 19年 9月 15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)13年 11月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 6人, 非常勤 3人, 常勤換算	7.2人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋建造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,850 円	その他の経費(月額)	6,000円 ~ 冬季7,500 円
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4) 利用者の概要(9月 15日現在)

利用者人数	9 名	男性 名	女性 9 名
要介護1	4 名	要介護2	3 名
要介護3	2 名	要介護4	名
要介護5	名	要支援2	名
年齢 平均	82.1 歳	最低	71 歳
		最高	97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	今岡医院、布施病院、鶴田町立中央病院
---------	--------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>ホームの周囲は田園が広がり、静かな環境にあり、入居者は天然温泉を利用した入浴を楽しんでいる。グループホームとしての理念は明確で、一人ひとりの尊厳を大切に、職員は優しくさりげない声かけや態度で対応し、家庭的な雰囲気の中で安心して生活している。また、研修や勉強会に参加しており、学んだ内容を全職員が共有しサービスの質の向上につなげ、より良い施設づくりに努力している。</p>
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>地域のお祭りへの参加や法人主催のお祭りで地域との交流を図り、積極的に町社協と連携をとり情報交換している。玄関に訪問者用消毒液を置き、時計も見やすい場所に設置改善している。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員が評価を理解・共有し勉強会で改善に向け話し合い、具体策を検討し実践につながるよう努力している。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>評価の結果や検討事項、現在取り組みをしている内容等情報を提供し、意見をもらいケアサービスに活かしている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)</p> <p>訪問時にケアプラン・ホーム便り・行事写真を見てもらい、現況を報告し気軽に意見・苦情を言えるよう働きかけ、遠方の家族には送付で報告し、安心できるように配慮している。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域のお祭りへの参加、また法人主催の夏祭り際には新聞に折り込みチラシを入れてお知らせし、地域住民が参加している。また、外出、買い物時も声かけがなされ交流が図られている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「あんしん、あたたかい、あずましい」という分かりやすい独自の理念を職員で話し合い作成した。手書きでホーム内、居室に掲示している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は毎月の勉強会で理念について話し確認し合っている。職員はレポートを提出し、日々実践につなげるよう努力している。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	地域のお祭り行事に参加している。また、法人の夏祭り際には新聞に折り込みチラシを入れてお知らせし住民が参加している。町社協の介護教室の講師や施設見学、体験学習を受け入れ認知症普及活動している。		今後キャラバンメイトになり、さらに認知症の普及活動に努め、地域に還元、地域住民の理解の促進に取り組むよう期待したい。

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>職員会議や勉強会で評価について話し合い、改善に向け具体策を検討し、実践につながるよう取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議では、ホームの現況、評価の結果、検討事項、改善の取り組みについて報告し、意見をもらいサービスの向上に活かしている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>常に町担当者と連携を図り、情報交換し、サービスの向上に努めている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>職員会議や勉強会で学ぶ機会を持ち理解している。必要な入居者がいる場合は個人のプライバシーに配慮し支援している。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>マニュアルを活用している。勉強会で内容を確認、意見交換し常に確認しながらケアを実践して防止に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居者、家族が納得できるよう時間をかけ説明し同意を得ている。		
10	12	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時、ケアプラン・金銭出納・ホーム便り等で個々にあわせ報告し、遠方の家族には送付している。		
11	13	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時、家族が意見・要望を気軽に話せるよう声がけをし、意見については前向きに受け止めサービスに反映させている。		
12	16	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	定期的に1名を計画的に異動させている。その際は、ケアの継続に支障がないよう配慮している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修を受講する機会を設け、受講者は全職員に報告し、共有・意見・アドバイスを受け実践につなげている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	系列施設の職員との交流、親睦会を行っているが同業者との額集會や交流は行っていない。		他グループホームの見学や相互研修会での事例等を通して事業所以外の人材の意見や経験をケアに活かしてほしい。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	居室に入居者が使用していた家具・写真等を置き安心して生活できるよう配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀樂を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	ホールでの団樂、食事の準備、後片づけ、畑作業等生活の場を通し、共に学び、支え合う関係づくりをしている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>入居者との日常の会話や関わりを大切にしている。一見乱雑に見える様な居室でも入居者の思い・希望を大切に常に確認しながら支援している。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>センター方式を取り入れ、常に入居者にとって大切な事を考え、本人・家族・全職員で検討し作成されている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的な見直しはもちろん、毎月の職員会議で密に検討している。他に入居者の状態変化に応じて適時検討しサービス計画が作成されている。</p>		
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>その日の天候で行事を追加したり、献立を変更したり等入居者に合わせ、柔軟に支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居前から診て頂いている医療機関を維持している。協力医とは緊急時の対応について依頼し、関係は密にとっている。また、治りが悪い場合等は家族・併設施設の看護師に相談し病院を変えてみる等適切な医療を受ける支援をしている。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入所の時点で、重度化について説明をしている。また、急な状態変化の都度ご家族との話し合いを持っている。</p>		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居者の自尊心に十分配慮した対応がされている。個人情報の取り扱いについては注意するよう徹底されている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>「安全確保」「入居者の希望」の両立で苦慮しながらも入居者・ご家族の希望に沿い、一人ひとりに合わせた生活ができるよう支援されている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>入居者の体力・気力・衛生面を十分配慮しつつ、食事の準備から後片付けまで一緒に行っている。食事は、さりげない声掛けで促しながら楽しい雰囲気職員も一緒に摂っている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>天然温泉で隔日の入浴日になっている。また、個人の希望や必要に応じた入浴支援もされている。</p>		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>入居者の生活歴を活かし、一人ひとりの性格等に配慮しながら、役割を楽しめるよう支援している。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>一人ひとりの気分転換も考えながら、買い物に誘っている。また、外出行事への参加も積極的に行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	職員は身体拘束のないケアを認識している。危険行為・生命への危険時は法人・施設内・ご家族等で十分検討しあっている。		
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	日中は鍵をかけず出入りも自由となっている。離園への配慮は行っている。		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	併設施設と共同で、消防署・地域の消防団・協力員参加での避難訓練を年1回実施している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	併設施設の栄養士に確認してもらい指導を受けている。毎食の食事摂取量や水分補給の観察も行われている。		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	感染症マニュアルを準備している。入居者・職員の予防は徹底している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節感のある壁画を飾るなど共有空間は開放的で家庭的な雰囲気となっている。入居者は自由にのんびりと過ごされている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>持ち込み禁止等はなく、入居者の居心地の良さを優先し支援している。</p>		

 は、重点項目。